

現行計画（前期基本計画）の検証

評価項目110件 達成・ほぼ達成○50件(45.4%)、未達成▼41件(36.4%)、大幅未達成×18件(18.2%)

総合計画の体系			現行計画の評価と次期計画にむけて								
基本施策	施策名	担当課	現行計画の成果及び今後の課題 (現行計画の効果をふまえ、今後対応すべき課題など)	指標	基準値	実績			目標値	評価	
					R3	R4	R5	R6	R7		
政策1【教育・文化】											
01 誰もがいつまで も成長し続け、輝けるまち	01 生涯学習の充実	生涯学習課、 図書館活動 課	講座や研修への自主的な参加が低く、特に20代から60歳までの参加者数が少ない。ボランティア活動等に参加している市民は一定数いるが、参加者の固定化や高齢化が顕著である。 趣味や趣向が多様化する中、対応できていない。仕事や育児等により時間的な余裕がなく、学習意欲の優先度が低くなっている。	小中学生に関する地域の支援者数（人）	6,134	7,887	10,480	10,500	6,200	○	
				市民一人あたり図書貸出数（冊）	2.2	2.4	2.4	2.4	3.1	×	
				公民館利用者数（人）	105,511	78,654	79,060	83,043	116,000	×	
	02 就学前の教育、 保育等の充実	幼児教育課	Well-beingアンケートの結果では、「子育て」「初等・中等教育」の項目は中間的な評価であり、子育て支援、補助の充実により市民の満足度はある程度高いものの、出生数の減少が課題となっている。これまでの取組により待機児童は解消傾向であるが、少子化による影響も考えられる。今後は国のすすめる新たな子育て政策や質の高い保育・教育を提供するため、研修等による保育教諭等の人材育成や事務負担の軽減に向けた取組を継続して取り組む必要がある。	一時保育利用者数（人）	2,168	2,249	1,476	1,081	1,000	○	
				公立保育園・こども園への入園率（%）	71.0	74.8	73.6	75.7	80.0	▼	
				私立保育園・認可外保育への入所者数（人）	16	44	38	37	40	○	
				「子どもが楽しく園に通っている」と思う割合（%）	96.6	94.3	95.9	97.9	100.0	○	
	03 学校教育の充実	教育総務課、 教育政策課、 学校教育課	GIGAスクール構想等に基づき、1人1台端末や電子黒板等ICT機器を順次整備している。ICT活用の有効性について児童生徒の意識の高まりがみられる。しかしながら、端末の持ち帰りや授業での活用度について学校差があることは否めない。また、端末利用が進む一方で、読書に親しむ児童生徒の育成や学校図書の学習の面での効果的利用についても持続的な取組が必要である。 国際的感覚・資質・能力の育成について、児童生徒の意識の高まりは数値に表れている。本年度よりALTが各学年1名配置となり、その活用の場をより一層多様化し、系統的に取り組んでいくことが課題となる。 片上高等学校におけるキャリア教育の充実が推進されている。年度によって数値は変わってくるものの、概ね目標値並みとなっている。今後継続的に教育活動の特色や魅力の強化と周知が必要である。	ICT活用スキル達成度・ ICT環境満足度（%）	—	95.5	—	—	80.0	▼	
				外国語教育環境満足度（%）	—	88.8	—	—	90.0	▼	
				貸出冊数・学校図書満足度（%）	—	70.4	—	—	90.0	▼	
				希望進路意識・進路決定率（%）	—	100.0	100.0	—	90.0	○	

現行計画（前期基本計画）の検証

評価項目110件 達成・ほぼ達成○50件(45.4%)、未達成▼41件(36.4%)、大幅未達成×18件(18.2%)

総合計画の体系			現行計画の評価と次期計画にむけて								
基本施策	施策名	担当課	現行計画の成果及び今後の課題 (現行計画の効果をふまえ、今後対応すべき課題など)	指標	基準値	実績			目標値	評価	
					R3	R4	R5	R6	R7		
04 歴史文化の活用 と伝統文化の継承	生涯学習課		歴史文化の活用と伝統文化の継承のため、市内文化財の新規指定候補を増やすことを指標の一つとしているが進んでいない。文化財の価値を明らかにするため調査環境を整備し計画的に調査していく必要がある。また、地域の文化資源について、すべての世代が誇りを持ち、永続的に残していきたいと考えてもらえるような取り組みを実施していく必要がある。市内の各文化施設について、利用実態や老朽化等の理由から施設の集約化や利用方法の検討が求められている。そのような中で、令和7年備前市美術館が開館する。新たな文化的魅力の創出、誰もが身近なところで、いつでも、気軽に芸術文化に触れることができる文化交流施設として期待される。	市内文化財の新規指定等の候補件数（累計）（件）	8	8	8	8	19	×	
				論語かるた大会の参加者数（人）	-	70	110	86	100	▼	
				出前授業等の市内教育関連事業で行った内容の理解度（%）	-	-	80.0	80.0	90.0	▼	
				文化施設開催の講座・ワークショップ参加者数（人）	256	187	188	140	850	×	
				文化関連で発信したYouTube動画再生回数（累計）（回）	814	342	126	91	10,000	×	
				芸術文化に接する機会があった市民の割合（%）	26.9	-	34.9	-	45.0	▼	
05 スポーツ・レクリエーション活動の推進	文化スポーツ振興課		現有施設の中には、経年使用による劣化が顕著なものが存在する。改修、修繕について優先順位を的確に行い、施設を有効に活用し、市民の誰もが幼児期から高齢期まで生涯にわたりスポーツに親しめるよう、環境整備の充実を図る必要がある。	週1回以上運動する人の割合（%）	33.3	33.7	34.0	45.0	45.0	○	
				市内体育施設の利用者数（人）	309000 182750	237,984	254,430	310,000	310,000	○	
				県内外を対象とした大会等の参加者数（人）	2,217	2,633	3,294	4,235	3,000	○	